

## 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

作成日 平成19年11月8日

事業所番号	2772202012	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社 オーナーズ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103
事業所名	グループホーム ジョイフル小路	評価調査日	平成 19 年 11 月 2 日
所在地	大阪市生野区小路東四丁目5番16号 (電話) 06-6751-1419	評価確定日	平成 19 年 11 月 9 日

## 【情報提供票より】(平成 19 年10月15日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成17年 10月1日
ユニット数	ユニット 1 利用定員数 9人
職員数	9人 常勤 7人 非常勤 1人 常勤換算 7人

## (2) 建物概要

建物の構造	鉄骨 造り 4階建ての(1階部分)
-------	----------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	43,700円	その他の経費(月額)	75,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 200,000円 償却期間 5年	有の場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	250円	昼食	400円
	夕食	530円	おやつ	150円
	または1月当たり		40,000円	

## (4) 利用者の概要(10月15日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	2名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	83才	最低	62才	最高	90才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 福寿会 かねむら歯科医院
---------	----------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

介護に当たっている職員は殆どが開設当初からの勤続者で、年齢も利用者に近いこともあり、安心感と落ち付いた雰囲気の中で支援が行われている。介護に当たっては本人が持っている能力を見付け出し、それぞれの能力を活かすように配慮している。また、急がさず、ゆっくりとプライドに配慮した介護が行われている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ご本人が出来ることは、介護者が助言しながら食後のかたづけや、洗濯物のかたづけなど、手出しをせずに見守っている。職員の定例研修は毎月1回、週日の午後に約1時間半、行われ、介護の各種記録は詳細に記録されファイルされている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の評価実施以後、職員の話し合いと改善に取り組んできたので、今回の自己評価に当たってはその反省を含めて、出来たことや、出来なかったことを検討することが出来ている。運営者は日常、度々来訪して、そのつど相談案件の解決を図っているの、職員にとっても働き甲斐があり、良い介護活動が行われている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	地域包括センターの指導により平成18年11月21日に第1回の運営推進会議を開催し、今年9月27日で第4回を開催した。会議の内容は当ホームの介護活動の紹介から始まって、現在では会議の半分は当ホームの報告、後半は地域への高齢者への対応について当ホームの役割分担などを主に話し合っている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	ご家族もホームの近隣の方々が多いので度々見舞いに来て頂いて、その都度職員と話し合っているの、ご意見等については、その都度解決を図っている。運営者も度々来訪しているの、問題が起きてもすぐ解決出来ている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議の話し合いの中で、地域の方々へのホーム職員による高齢者問題について、講師としての活動を要請されてをり、この11月17日に第1回の開催が決まっている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念として ・尊厳を保つ ・その人らしく ・生きがいのある安心した暮らしを掲げている。		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	運営理念は目につきやすいように掲示され、理念に沿った介護が行われている。	○	地域活動も進められているので、企業理念をご家族、地域の方々、職員にも分かり易い言葉で表現してあげてください。
<b>2 地域との支えあい</b>					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	自治会や老人会などの行事に参加させてもらっている。		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の評価を基に、職員全体で会議を開催し話し合いを行って来た。		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議の開催によって地域の方々との交流が出来、相互理解が進められた。		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の開催によって、区役所との交流が出来た。また、生野区社会福祉協議会の介護予防教室に招かれ、当施設の介護状況を説明することになっている。		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	家族来訪時に利用者さんの近況報告をしている。金銭管理は事前に報告して了解を得ている。		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族との話し合いで意見・助言などを運営に反映させている。苦情などの投書箱は玄関入り口に設置されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の退職者はこの2年近く無く、利用者、職員とも、互いの名前を覚えていて、安心感のある介護が出来ている。</p>		

## 5 人材の育成と支援

	10 19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員全体のスキルアップのため運営者は研修への参加を促している。時間調整や費用についても配慮されている。</p>		
	11 20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の他の施設やデイサービス、動物セラピーなどの訪問を実施している。</p>		

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

### 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人、ご家族とホーム側とよく話し合っており、ご本人に合ったサービスをあせらずに、ゆっくりと始めるようにしている。</p>		
--	-------	---	---	--	--

### 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日一緒に過ごすことによって職員が、家族や友人のようになり、不安や喜びを共有する間柄となっている。</p>		
--	-------	---	--	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

### 1 一人ひとりの把握

	14 33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の行動や表情などで何を求めているかを察知し職員全体で話し合っており、ご本人の希望、意向などの把握に努めている。</p>		
--	-------	--	--	--	--

### 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族の意向を尊重し全体会議で情報を把握して、ご本人に合った介護計画の見直しと作成に努めている。</p>	○	<p>個別の記録は詳細に出来ているが、計画作成時に一覧性のあるデータや特記事項があれば役立つので、記録保存のやりかたを検討してください。</p>
--	-------	---	---	---	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護期間に応じて見直しを実施しているが、対応出来ない場合には家族、医師等の協力も得て計画変更を行っている。		

### 3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	市内 平野区内の同じ法人のグループホームとの協力で、行事等の実施や応援を得ている。		
----	----	---	---	--	--

### 4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ご家族同意で週3回マッサージが受けられ、週1回は歯科医の検診の支援を行っている。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ご本人やご家族の意向を尊重し医師、職員全体で方針を共有している。		

## IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 1 その人らしい暮らしの支援

#### (1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	個々の人格を尊重し姓での声かけを実施している、申し送りや職員同士での会話ではイニシャルで符号化し、配慮して行っている。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来るだけご本人の希望に添えるよう配慮している。		

#### (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日会やおやつなどはリクエストに応じて、一緒に作ったり、外食に行ったりして楽しんでもらっている。		
----	----	---	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しむように支援している</p>		<p>2日に1度の入浴を基本としているが、それ以外にも、ご本人の希望には出来るだけ応じている。</p>

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>花壇の世話・買い物・ゲーム・食事の準備、片づけ・など、一人ひとりに合ったことをやって気晴らしをしてもらっている。</p>
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		<p>散歩、買い物などの外出の声かけをし、行かない方々には外の空気に触れてもらえるよう、テラスでお茶や会話を楽しんで頂いている。</p>

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>玄関先は自動車の通行が多いので安全のために、鍵かけをしている。</p>
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>職員の会議で危機管理の共通理解をしておいてください。職員だけで消防署との訓練も検討しておいてください。</p>

## (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		<p>各摂取量は毎日の記録で確認できている、食事のバランスとカロリー計算は出来ている。</p>
--	----	----	---	--	---

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>共用空間には季節の花が活けられており、壁には季節に応じた掲示物を飾られている。また、個室には外部騒音に対するカーテンなども工夫されている。</p>
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		<p>入居時には、ご本人の使い慣れた家財道具類を相談の上、持ち込んでいただいている。</p>